



ふらっぷだより

第16号

発行日：平成29年5月19日

発行：宇都宮市青少年自立支援センター

青少年自立支援センター「ふらっぷ」では、ニート・ひきこもり、非行など青少年の悩みごとの相談をお受けしています。

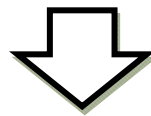
自立に向けての悩みは、「就活がうまくいかず落ち込んでいる」「社会に出ていく自信がない」など様々です。一人ひとり悩みをどう乗り越えるか、相談員と一緒に考えながら、少しずつ歩み出しています。今回は、4月から学生生活をスタートさせたMさんをご紹介します。

Mさん

20代女性。引越しや転校を機に不登校となり、高校中退後、引きこもっていましたが・・・



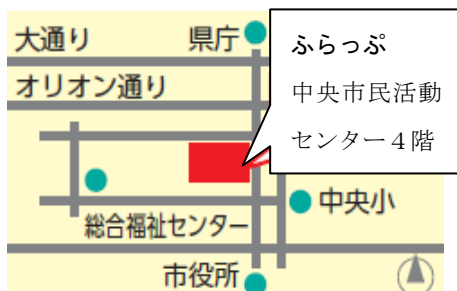
- ・「変わりたい」という思いで勇気を出して「ふらっぷ」に電話しました。
- ・「ふらっぷ」に来て、色々話していく中で不安が少しずつ解消してきました。
- ・「学びたい」という気持ちが芽生え、4月から学生生活をスタートさせました。



～Mさんからのメッセージ～

- ☆ **まず第1歩を踏み出そう**
- ☆ **自分の新しいチャンネル(交流の輪)を増やそう**
- ☆ **人の道には「前に向かう道」「後ろに続く道」「横道」もあるよ**

◆青少年の総合相談窓口「ふらっぷ」



みない～こ

◇相談専用電話 **028-633-3715**

◇相談時間 月曜～金曜 午前9時～午後5時

(但し祝休日、年末年始は除く)

※予約の上お越しくください。費用は無料
※相談内容は厳重に管理されますので、外部に漏れることはありません。

◇所在地

中央1丁目1番13号

中央市民活動センター(中央生涯学習センター)4階



相談事例を紹介しているふらっぷだよりのバックナンバーをホームページで公開しています。

ホームページ



青少年の非行の現状と悩みを抱える青少年への対応

—対応の現場から—

～ 非行防止講演会～

平成28年11月19日（土）に東市民活動センターにおいて、「青少年の非行の現状と悩みを抱える青少年への対応—対応の現場から—」と題した宇都宮少年鑑別所 所長久保講師による講演会を開催しました。

講演では、少年鑑別所についての説明や、最近の少年非行・非行少年の特徴、非行の原因と対策などについてお話しいただきました。

近年の少年非行の総数については、激減しているものの、非行少年の特徴としては、「悪い集団には入らないが、良い集団への適応もできにくい」、「反社会的な集団非行から非社会的な単独非行へ」という傾向にあることを話されました。

また、最近の親子関係においては、「正面からぶつかり合わず、指導や注意は専門家に任せ」という関係が増加傾向にあるとの指摘もされました。

さらに、「非行少年への接し方」、「少年非行の防止に向けて」にも触れ、「接し方」で重要なことは、少年の問題点ばかりでなく、良い資質を発見し、評価し、自信や意欲につなげていくことが大切であることや、「防止」に向けては、まずは、相手がなぜそう思うのかなど、「聞こうとする姿勢」が必要であり、そのうえで、他に適当な考えや、対処方法がないかなどを「一緒に考えようとする姿勢」が大切であることを示されました。

身近なところで、子どもたちのためにできることから始めましょう。



携帯電話にフィルタリングを！

新年度を迎え、子どもたちが初めて携帯電話を持つことが増えます。携帯電話は便利な反面、その使用の仕方を誤ると、インターネットのゲーム等で予想外の課金がされたり、個人情報流出し犯罪被害にあうなどの危険性のある機器であることを忘れてはなりません。

子どもに携帯電話を持たせる場合には、契約の際に各携帯電話会社等のフィルタリングを利用し、子どもが携帯電話をどのように使っているか、関心を持って見ていくことが大切です。

○相談員の横顔

今回は「^{おかもと}岡本 ^{よしえ}芳江」さんです。

私は主に、いじめや不登校、発達障害に関すること等、学校問題の教育相談に携わってきました。ふらっぴ3年目の現在は産業カウンセラーとして、人間関係がうまく築けない、自立がなかなかできない等、生き辛さを抱える青少年からの相談を受けています。

まずは、相談者の話に耳を傾け、意思を尊重し寄り添いながら、相談者が目指す自立に合わせて、一緒に考え適切な支援を提供できるよう努力しています。

私は、「誠実に、丁寧に、温かく」をモットーに、心に寄り添える伴走者となれる相談員を目指しています。悩みを誰かに話すと気持ちがラクになれます。一度、お話してみませんか？（話せる相手を増やしましょう！）